

機械器具 06 呼吸補助器
管理医療機器 酸素治療フローメータ JMDNコード 37132000

医療用酸素流量調整器 MORP 型

【禁忌・禁止】

- * <併用医療機器>「相互作用の項参照」
- * ◆ 本品に呼吸同調器を接続して使用しないでください。[十分な量の酸素が供給されなくなります]
- * ◆ 本品をMR室へ持込まないでください。[本品がMRI装置に引き寄せられ、本品が患者や物品に衝突することにより、患者に怪我を負わせたり物品を破損させたりする事故の原因になります]
- <使用方法>
- * ◆ 火気から5m以内の場所で使用しないでください。[引火すると火災・火傷の原因になります]
- * ◆ 本品に油脂を付着させないでください。[油脂に引火すると火災・火傷の原因になります]
- * ◆ 換気が不十分なところでは使用しないでください。[火災・火傷の原因になります]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

構成は以下の通り

(1) 本体: 1台

オプション

(2) タケノコ型コネクタ: 1個

2. 種類

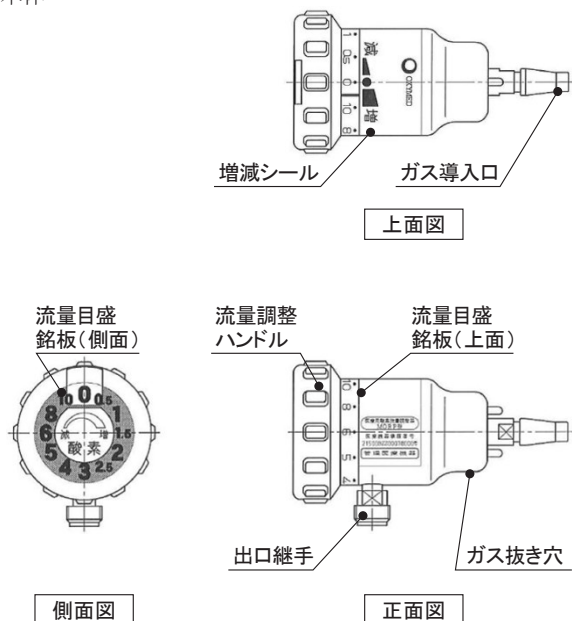
本品には構成内容・仕様の違いにより4種類の品番がある。

品番	構成内容
MORP-4	・ 本体
MORP-10	・ タケノコ型コネクタ
MORP-4K	・ 本体
MORP-10K	・ 加湿瓶 (届出番号: 20B2X00025000008)

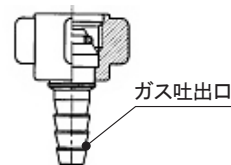
3. 形状・構造

(1) 外観形状

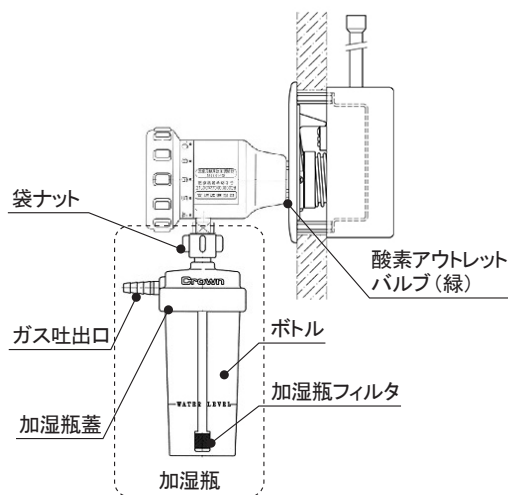
① 本体



② タケノコ型コネクタ



(2) 酸素用アウトレットバルブへの取り付け図 (品番MORS-4K、MORP-10Kの場合)



4. 作動・動作原理

アウトレットバルブより供給される酸素ガスを本品のガス導入口より進入させると、内部のピストン式減圧機構により使用圧力に減圧されます。その後、オリフィス式の流量設定機構により流量が調整され、出口継手から減圧及び放出量を調整された酸素ガスが供給されます。又、加湿瓶付の場合、さらに加湿瓶内を通りガス吐出口から湿度を与えられた酸素ガスが供給されます。放出量は流量調整ハンドルを回転させることで必要とする流量に調整することができます。

* 5. 性能

使用ガス	医療用酸素ガス
使用温度	-10~40℃
流量目盛	<品番MORP-4・MORP-4K> 0/0.25/0.5/0.75/1/1.25/1.5/1.75/2/2.5/3/4 L/分 <品番MORP-10・MORP-10K> 0/0.5/1/1.5/2/2.5/3/4/5/6/8/10 L/分
入口圧力	0.4±0.05MPa
出口圧力	0.13MPa
流量精度 ¹⁾	1L/分以下: ±15%(各目盛) 1.25L/分以上: ±10%(各目盛)
入口形状	標準ピンインデックス形
出口形状	酸素用DISSコネクタ (No.1240) オス

1) 入口圧力が0.4MPa時

* 【使用目的又は効果】

病院内の酸素ガス配管に接続し、酸素ガスを減圧し患者の状態に合わせ流量を調整して供給する。また、本品は、主に肺疾患、酸欠、術後の再発等の患者の治療に使用する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

* 【使用方法等】

1. 使用方法

(1) 使用前準備

- ① 本品がひび割れ等損傷・変形していないことを確認してください。
- ② 本品のガス導入口に油・汚れ・異物が付着していないことを確認してください。
- ③ 本品の流量目盛が「0」であることを確認して、酸素用アウトレットバルブのピンホールと本体のガス導入口に設けられた2本のピンの位置を合わせ、「カチッ」という音がするまで本品を押し込んでください。
- ④ 「シュー」というガス漏れ音がしないか確認してください。ガス漏れがある場合は、再度接続部の緩みがないか確認してください。緩みがない場合は、使用を中止して取扱い販売店へ連絡してください。
- ⑤ 流量目盛を「0」以外にあわせて、この時出てくる酸素に異臭がしたら、直ちに本品を酸素アウトレットバルブから取り外して、取扱い販売店へ連絡してください。

* (2) タケノコ型コネクタ／加湿瓶の取り付け

< MORP-4, MORP-10 の場合：タケノコ型コネクタ装着 >

- ① 本品の出口継手部にタケノコ型コネクタの袋ナットをねじ込み、手締めでしっかりと固定してください。

< MORP-4K, MORP-10K の場合：加湿瓶装着 >

- ① 加湿瓶蓋をボトルから外してください（反時計回り）。
- ② 精製水をボトルの標準水位（WATER LEVEL）まで注入してください。（ボトルに精製水を注入する前に、必ず水洗い等の洗浄を行ってください。）
- ③ ボトルに加湿瓶蓋をしっかりとねじ込んでください。
- ④ 本品の出口継手部に加湿瓶の袋ナットをねじ込み、手締めでしっかりと固定してください。

(3) 酸素吸入開始

- ① 鼻カニューラ・マスクチューブをガス吐出口に差し込んでください。
- ② 流量調整ハンドルを回し、処方された流量の数値を流量目盛に合わせて設定してください。流量を設定した後、酸素ガスの吸入を開始してください。

(4) 酸素吸入終了

- ① 流量目盛を「0」に合わせてください。
- ② (MORP-4K, MORP-10K の場合) 加湿瓶の袋ナットを緩め、本品から加湿瓶を取り外してください。加湿瓶内の精製水を捨て洗浄し、よく乾燥させてから保管してください。また、洗浄の際は、ボトルに傷がつかないようにやわらかいスポンジ等を使用してください。

* 2. 組み合わせて使用する医療機器

* 本品は、以下の医療機器と併用して使用できます。

一般的名称	販売名	届書番号	製造販売業者
非加熱式加湿器	加湿瓶	20B2X00025000008	株式会社ユタカ

3. 使用方法等に関連する使用上の注意

- ◆ 本品の下部に設けられたガス抜き穴をテープ等で塞がないでください。[減圧機構部が正常に作動せず、処方の酸素流量を吸入できなくなります]
- ◆ 本品の流量を設定するには、流量調整ハンドルを「カチッ」と音がするまで回し適切に流量目盛が設定されていることを確認してください。[流量目盛の中間位置に設定された場合は酸素ガスが出ず、処方の酸素流量を吸入できない原因となります]
- * ◆ 流量調整ハンドルを回して流量を設定する際、それ以上回らない方向に力をかけすぎないようにしてください。

- ◆ 鼻カニューラやマスク等をガス吐出口に差し込むときには、必ず奥まで確実に差し込んでください。また、チューブのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露がないか確認してください。
- ◆ 本品に加湿瓶を取り付けて使用する場合は、加湿瓶内の精製水は定期的に交換してください。また、加湿瓶内の水が少なくなった場合も衛生上注ぎ足しはせず、新しい精製水に入れ替えてください。[加湿瓶内に長期間水をいれたままで放置していると、藻・水アカの発生等により加湿瓶フィルタが目詰まりし、処方の酸素流量を吸入できない原因となります]

【使用上の注意】

* 1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- * (1) 臨床的に病状又は病態が不安定な患者
- * (2) 酸素投与により二酸化炭素蓄積が増悪する患者

2. 重要な基本的注意

- * ◆ 本品の接続部から酸素ガスが漏れていないことを、使用前に確認してください。
- * ◆ 本品の接続部のガス漏れ確認には、石鹼水を使用しないでください。[石鹼水が付着したまま乾燥すると、固体化した石鹼が付着・混入して酸素ガスが漏れ、適切な量の酸素ガスを吸入できなくなる原因となります]
- * ◆ 酸素吸入中に異臭や酸素ガスが出ない等の異常を感じた場合は、使用を中止し取扱い販売店に連絡してください。
- * ◆ 本品に貼付されたラベル（注意事項）が「はがれ」や「汚れ」により読めなくなった場合は、使用を中止し取扱い販売店に連絡してください。
- * ◆ 本品を消毒液や水等の液体に浸して洗浄しないでください。
- * ◆ 本品をクリーニングする際にはアルコールやベンゼン系の有機溶剤を使用しないでください。クリーニングが必要な場合には、ぬるま湯に布を浸し、軽くしぼってから本品の外面を拭ってください。
- * ◆ 本品をオートクレーブ（減圧蒸気滅菌）や酸化エチレンで滅菌しないでください。
- * ◆ 本品に加湿瓶を取り付けて使用する場合、精製水以外は絶対に使用しないでください。

* 3. 相互作用

* (1) 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
呼吸同調式レギュレータ	使用禁止	十分な量の酸素が供給されなくなります。
核磁気共鳴画像診断装置	本品をMR室へ持込まないこと。	磁気により本品がMRI装置に引き寄せられ、本品が患者や物品に衝突することにより、患者に怪我を負わせたり物品を破損させたりする事故の原因になります。

* 4. 不具合・有害事象

* (1) その他の有害事象

下記のような症状又は異常があらわれた場合には、適切な処置を行ってください。

- ・強い息切れ、爪の変色
- ・強い動悸
- ・発熱
- ・頭痛・強い眠気
- ・痰の増加、変色
- ・咳の増加
- ・尿の減少、手足のむくみ
- ・鼻、口、のどのかき



***【保管方法及び有効期間等】**

*** 1. 保管方法**

- * (1) 本品は、結露が生じるような環境、酸性ガス、塩分、ほこり、ゴミ、雨、水、直射日光、高温等を避けて保管してください。
- * (2) 周囲温度が-10～50℃の環境で保管してください。

2. 耐用期間

** 本品の保守・点検を適正に実施した場合、6年。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

- * 下記の項目について1日一回以上実施してください。
- * (1) 周囲環境確認：火気・油脂等確認。
- * (2) 配管確認：アウトレット仕様等確認。
- * (3) 使用前確認：外観検査・機能検査・漏れ検査等。
- * (4) 使用后確認：保管等確認。

2. 業者による保守点検事項

- (1) 1年毎に実施することを推奨する定期点検は、購入した取扱い販売店にご相談ください。
- ** (2) 3年毎に実施することを推奨する定期メンテナンスは、購入した取扱い販売店を通して販売元に依頼してください。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者の名称：アイ・エム・アイ株式会社

製造業者名：株式会社ユタカ 松本工場

販売業者（代理店）の連絡先：日本酸素株式会社

所在地：東京都品川区小山1-3-26

電話番号：03-5788-8340